

ちょう かく しょう
聴覚障がいについて

4コマまんがで学ぶ

ちょう かく しょう
聴覚障がいってなんだろう？



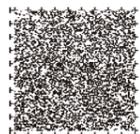
ちょう かく しょう
聴覚障がいとは…

聴覚障がいは、音が聞こえない、または聞こえにくい状態をいいます。生まれたときや幼いときなど、言葉を覚えるより前に聞こえなくなった人(ろう者)、言葉を覚えた後に全く聞こえなくなった人(中途失聴者)、聞こえにくい人(難聴者)がいます。

聞こえ方はそれぞれ違い、声を出して話せる人と、話すのが難しい人がいます。耳からの情報が得にくいいため、文字や図など、いろいろな方法で目からの情報を得ています。

ほか 他にも困ることがあります

列車の遅れの案内放送が聞こえず、困ることがあります。他にも、テレビや映画は字幕がないと内容が分からない、災害時の放送が聞こえないなど、困ることがあります。



ちょう かく しょう
聴覚障がいについて

4コマまんがで学ぶ

はいりよ
どんな配慮をするといいの？



こころ 聴覚障がいのある人も、どのくらい聞こえるか、聞こえなくなった時期などによって、それぞれコミュニケーションの方法が違います。

聴覚障がいのある人にたずねられたら、伝えたいことを紙に書いたり、ゆっくりはっきり話したり、身振り手振りあるいは手話などを使ったりして伝えてください。

相手に伝えようという気持ちが大切です。

こんな配慮をしましょう

まめちしき 手話

手話は、聴覚障がいのある人にとっての「言葉(言語)」です。

ただし、聴覚障がいのある人全員が手話を使えるわけではありません。



右手の人さし指と中指を立てて重ねて額の中央部に当てる。

両手の人さし指を立てて向かい合わせた後に、そのまま両方の指を曲げる。

